すばらしい自然・景観・環境の保全と創出

（自然保護、生態系維持、景観保全・形成など）

①エコーライン沿の
景観の保全

景観条例

ソーラーパネル設置に
村独自の
きびしい
ガイドラインを

下い

①電柱を埋設する。
山の景観を活かす。

美しい景観づくり
景観条例を見直し、
八ヶ岳の自然と調和する
ように色、建物等
規制する ほうまで

電柱の地中化

自然保護
・保健休養地内への
住宅許可については
もう少し規制を強くできないか？

野焼きの禁止

自然を守る
森林の保全。
植林・樹種のせんばつ
等。
かんよう、土砂の流出を
防げる森林へ。

森林内への住宅
規制。
なるべく集落内へ
別荘も区域を限って
作る。

八ヶ岳山麓への
別荘等の規制
（自然を残すために）

美しい村づくり連合
への加盟

有機農業
エリアを
つくる
村の自立に。

住宅でなくす。
アウトドアパウト化。

人と環境にやさしい持続可能な「循環型社会」の創出

（ごみ、リサイクルなど）

②
・生ゴミをエネルギー化
する。
（ゴミ減量）
↓
水素エネルギー。

・林の下払い、間伐材
不耕作地等の草
の利用

地域内で
循環できるエネルギーへ
地中熱、太陽熱
太陽光など
使わない生活も考える

バイオマスエネルギー
、バイオガス
、水素生産の研究

生ゴミのリサイクル
（各家庭）

ゼロ・ウェイスト
宣言。

ごみゼロの村を
めざして行動する
生ゴミの循かんなど
生来最終処分場が
必要なくなるように

森林の下草刈
等の肥料化。

・間伐材で~~村の~~公共施設を
作る等の取り組みを
したら良いと思う。

小規模資源物
リサイクルステーションを
つくり
常時回収をする

ごみ、リサイクル
・3Rの内
リデュース（必要以上の
物を買わない）
意識の向上
・固形方式の研究
（企業など）

資源ゴミ
常時回収

地球温暖化防止対策

（省エネ、新エネルギーなど）

③
・水素による地域
エネルギー
↕
生ゴミを原料とする。

③
・バイオマスエネルギー
の活用
1) 燃やすバイオマス。
2) 発電するバイオマス。
3) 発酵するバイオマス。

③ ・地中熱
↓
地下水脈を
活用し、熱エネルギー
を取り出す。
→農業用
融雪・暖房用。

上水道による
発電

エネルギーの
村独自の自立

村で完結
できる
エネルギー調達
をつくる

③ 中山間地の
有効活用
（バイオマスエネルギー）
ソルガム等の栽培。
→荒廃地を作らない。
・エネルギーを取り出す。

小水力発電
普及のための
水のみなおし

・太陽光発電は24時間
発電できる訳ではないので
他の水力発電・バイオ
発電等のエネルギー比率
を考慮して取り組んだ
方が良い。
・風力発電は効率が悪く
落雷・景観・バードストライクの問題
が有り作らないでほしい

エネルギー
太陽光発電（家庭用）
の普及。

~~住民の自覚~~
新エネルギー
水道の活用

水資源の確保、保全と上下水道の整備

（水質保全、上水道、下水道など）

水質保全
下流に美しい水を
流す。責任として。
きれいな水を流せるよう
行動する。生活、産業
それぞれに

下水道の全戸普及
（浄水ますをやめる）

自然と調和した居住環境の整備

（宅地の確保、まちなみ環境、公園、緑地など）

リビングゾーンの
土地、空き家等の
調査をし。
活用できるようにする

森（森林）の
整備

下水道未整備
地域への人口増
は問題
何らかのはどめ。

ペンション区の
景観見なおし
（点検）

農業者を増やす
農業者が山林を
所有。
・就農支援策、
一定の農業者がいることで保たれた景観

居住環境。
・家庭用焼却設備
の研究。

人に優しい道路・ネットワークの整備

（道路の整備・改善、交通安全、公共交通など）

⑥ ・道路の融雪
③
高齢化社会の
インフラ整備。
自然エネルギーを利用する。

健康づくりに
かかせない医療との
連携を
スポーツ、食と
連けいしてプログラムを

村内すべての道が
歩きやすい道となるよう
ウォーキングコースの充実

通勤、通学に使う
公共交通の整備
ひとりでどこへでも行ける
ように

道路、交通
茅野市、諏訪市
へのアクセス改善

・集落の中で主要道が
通っている所は歩道を
整備する。
できない所は別ルート
を作る。

茅野から
夜遅めの時間に
乗り合いで村に戻れる
バスの運行を。
日に1本でも。

（生活(各地区)に
即した細かい
調査アンケートの上に）

農道の規制
、事故防止。

住民の生活を守る消防・防災・地域安全対策

（防災、減災、自然災害）

⑦ ・地区のコミュニケーション作り
↓
・最大の防災は
地域のつながり。
・他地域からの
流入は核家族化
を進める危険がある
→良いコミュニティを。

助けの必要な
高齢独居者の
ケア
（特に親類も
近くにいない人）

・防災
・最低でも
各区公民館は
避難所指定

自主防災
地域住民の
全員参加の
防災、地域の
周知を

・自主防災活動
・消防計画による
運営
各区で実施する

自然を守る、人を守る
特に森林内
防火水源の計画的
な設置

第5分団を
立ちあげる

雪対策
見直し
（温暖化の中で）

新住民と
旧住民と交流し
お互いに
理解する
助けあうことが
できるように

その他

若者が働ける環境
せいび
ICTの活用
テレワーク等、起業支援
のせいび

地産地消を
推進し
村内の産業との
循環をつくる
諏訪圏内も
視野に

・シルバー世代
の集落を作る
原山の様に散らばっている人達をどうするか考える

八ヶ岳自然文化園
の施設の総点検。

移住する人の
村への参画
行事、役割

別荘住者の
区への加入を
案内パンフ